

1. 件名：原子力学会 2024 年秋の大会  
「リスク関連規格の階層化と基準、指針、技術レポートの活用について」
2. 日時：令和6年9月11日（水）13：00～14：30
3. 場所：東北大学川内北キャンパス（講義棟 B 棟 1F B103）
4. 出席者：  
原子力規制庁 検査監督総括課 村上検査評価室長  
※産業界、学术界の参加者多数
5. 要旨：
  - 標記学会セッションに参加し、確率論的リスク評価（以下「PRA」という。）の規制での活用事例を紹介した。
  - 現在、規制活動においてリスク情報を適宜参照しているが、各プラントでの PRA モデルの相違点が、公平な規制権限の行使にとって懸念材料となること、そうした技術的な課題にどのように向きあうべきか（考慮すべきか、放置・無視してかまわないのか、活用上の取扱いを整理しておくのか）などについて、論点を提示し議論した。
6. 参考：  
原子力学会 2024 年秋の大会ホームページ  
[https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/aesj2024f/session/1I\\_PL](https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/aesj2024f/session/1I_PL)

以上